

大阪観光ビジネス学院自己点検

(1) 教育理念・目標

1	学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか。	④	3	2	1
2	内容が社会のニーズに合致したものとなっているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

教育理念・目標・育成する人材像

「自尊心を持ち、自信にあふれ、自立できる国際的な視野を持った有能な人材を育成する」という理念は、全職員が共有しており、ホームページにも公開している。また、オリエンテーション時には学生全員に説明を行い周知している。本学院の理念・目的の実現に向けて、全校の組織が主体的・自律的に計画・実施・検証・改善を進め、定期的に点検・評価を行っており、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っている。

社会の求める人材像は時代とともに変化しており、社会情勢や時代の変化に対応できるニーズに合うような改善を加えながら、観光及びビジネス、通訳・翻訳業界で活躍できる社会に貢献する人材の育成を目指し今後柔軟に対応していく必要がある。

(2) 学校運営

1	目的に沿った運営方針、事業計画、体制等が策定されているか。	④	3	2	1
2	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

運営方針・事業計画は年度ごとに企画室にて策定し、年度初めに職員会議で周知している。その際教育理念に沿ったものであるかどうかという観点でも読み合わせを行い、教育機関としての体制強化に努めている。また、それらを実現するために将来を見据えたビジョン・ミッションを明確にし、学校運営を行っている。

成績入力を含め、学生情報をはじめとする全ての情報はデータ化するとともに、全職員が共有サーバー内で作業・管理を行い、効率的に業務が行える体制を整えている。学生の出席管理に顔認証システムの導入及び自動化を行い、出席情報の正確性を担保するため学生のスマホで確認できるようにした。各クラス担任、学生本人が出席状況を毎日確認できるようにした。

(3) 教育活動

1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	④	3	2	1
2	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

教育課程は学院長を中心に毎年度編成され、最終的に教育理念に沿ったものになっているかどうかの精査を理事会で行った後、全教員に周知される。各授業においては、シラバスの活用やアクティブラーニング手法の採用など、科目概要に基づいて個々の授業の具体的な内容を学習方法や成績評価法を含めた授業ごとの教育目的を学生に伝え、授業運用を行っている。また、各クラスに専任教員をクラス担任として配置している。担任の役割、重要性について再確認した。

(4) 生徒指導等

1	基本的な生活習慣の確立のための取り組みが行われているか。	4	③	2	1
2	生徒の安全管理のための取組等が行われているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

クラス担任を中心に個人面談を行って学生の生活習慣の把握し、欠席者については密な連絡や家庭訪問を行い、生活習慣、学習習慣の確立を図っている。一部出席状況がよくない学生に対し個別面談を実施している。その中で修学状況不良の原因について改善策を提示し、必要に応じて前回の指導から改善が見られない対象学生については担任・学生支援担当・専任教員3名体制で個人面談を行っている。アルバイト、経費支弁に関する調査も定期的に行い、生徒が円滑な学生生活が送れるように指導している。

緊急時の安全対策としてマニュアルを作成し、整備している。入学直後のホームルームで防災時の対応、避難経路・避難場所の確認、非常時の対応を周知し、訓練を行っている。

(5) 学習成果

1	資格取得率の向上が図られているか。	4	③	2	1
2	進路決定率の向上、退学率の低減が図られているか。	4	③	2	1

現状・課題・改善策

午後の時間帯で「選択科目制」を導入し、個々の学生の得意としている授業を選ぶことにより、学生の能力を高め、資格取得率をさらに高めることを目指している。外国語能力試験の合格率をアップする必要があるため、学科目別・能力別のクラス分けを行い、クラスごとに半期ごとの到達目標を決め達成に向けて指導に当たっている。また、定期的に試験を行い学生個々の到達度を把握している。

また、クラス担任制を設け目標未到達の学生に対しては面談を行い、就職や進学に必要な資格受験対策、補講等を実施している。進路に関しても担任による個人面談で本人の希望と学習能力のすり合わせを行う。進路指導を専門とするキャリアグループを設置し、キャリア教育を統一した。就職率については、ホテル業界を中心に就職希望者に対する高い就職率を確保されている。

(6) 教育環境

1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか。	④	3	2	1
2	教材は適切か。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

駐輪場の設置及び運用を開始し、学生を収容する教室数及び各教室の面積に関しても十分な量を確保している。個人面談の際に使用する部屋は個人情報の確保のために必要最低限の防音等の処置が施されている。教材については、教育課程策定の際に決定されたもの、教育機関等で広く使用されている市販のものを中心として使用するが、学生の習熟度に合わせたオリジナルの教材をその都度準備する。主要な教室にプロジェクタを設置し、視覚に訴える授業展開を可能としている。

(7) 生徒・学生募集

1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか。	4	③	2	1
2	生徒募集活動において、進路状況等の情報は正確に伝えられているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

情報提供はホームページ公開を中心に、入学案内・電子メール等で行う。問い合わせに関しては専門のスタッフが対応を行っている。オープンキャンパスの実施を行い、学習環境の紹介、入試制度の紹介、個別相談、学科体験授業、キャンパス見学等、受験生のみならず保護者にも直接本学を体験してもらう貴重な行事と位置づけ、広く案内して実施している。多くの受験生が参加できるよう年間を通じて複数回開催している。進路状況等の情報についても、ホームページや入学案内にて提供している。また日本人高校生を獲得する計画、目標を策定し、キャリアグループを中心に学校訪問等を行い学生募集活動を強化している。

(8) 財務

1	中長期的に財務基盤は安定しているか。	④	3	2	1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	④	3	2	1
3	財務について会計監査は適切に行われているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

本校は学生の安全及び教育活動の継続と質の保証を第一に考え、状況に応じて実施する事業計画の優先順位を見直したうえで、変化する時代に選ばれ続ける学校であり続けるための施策を実行し、確かな財政基盤の確立を目標している。また、本校の設置者である学校法人花園南学園において、中長期的に財務基盤は安定している。予算・収支計画は毎年理事会、評議員会において承認されており有効かつ妥当なものとなっている。年末の決算においても適切な会計監査を受け、理事会・評議員会において承認されている。

(9) 法令遵守

1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営が行われているか。	④	3	2	1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

各種関係法令及び専修学校設置基準の遵守については、府への報告処理を適切に行い専修学校としての責務を果たしている。留学生の在籍管理は適切に行われており、大阪出入国管理局から適正校認定を受けている。個人情報保護については内部規定を全職員に周知し、個人情報を取り扱う機関として適切な管理を行っている。

(10) 地域貢献・社会貢献・国際交流

1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	③	2	1
2	生徒・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	③	2	1
3	留学生の受入において適切な手続等がとられているか。	④	3	2	1
4	留学生の受入に対して、学内での適切な体制が整備されているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

社会貢献・地域貢献に関しては、西成区役所等と連携して地域のイベントに積極的に参加していたが、新型コロナウイルス感染拡大により実施しにくくなっている。その代わりに、学生のボランティア活動への支援を適宜行っている他、国連主催の「国際交流教育プログラム」に参加し、小学生、中学生、高校生に環境、教育、食料などの英語で説明しながら交流を深め、地域における国際化に貢献した。また、公益財団法人大阪観光局が主催する「大阪 B&S プログラム」に参加し、高校生との交流も深めた。今後も引き続き地域貢献・連携に関する取り組みをさらに進める体制づくりが必要である。

留学生の受け入れに関しては、受け入れを開始してから7年になり、大阪出入国管理局から適正校認定を受けている。文部科学省や出入国管理庁等の申請・報告等の行政手続はもちろんのこと、入学から卒業まで外国人留学生の適切な受け入れ及び在留管理等の学生管理体制等について、十分に整備されていると言える。

また、学生が主導となっているフットサルサークルと学生 SNS サークル等のサークル活動を実施し、こうしたサークルを実施するにあたり、予算の確保、イベント企画や運営の補助を行っている。